

① 公園の活用と維持管理、安全管理について

現在、日本は少子高齢化が加速し、人口減少の時代になり、財政的に厳しい自治体も多く、公園の整備や維持管理にかけられる予算も確保が難しくなった。その一方で、住民のニーズやライフスタイルは多様化し、公園もそれに対応することが求められていると考える。こうした社会情勢を受け、2017年都市公園法が改正されたが、これまで整備してきた公園をより効果的に使いこなし柔軟に運営していくことが求められている。実際、高齢化社会となり児童にとって身近に利用できる街区公園においても、多様な年齢層の利用促進に向けた取り組みが見られるようになってきている。本町には都市公園（街区公園・近隣公園・地区公園）70か所、都市公園以外で地域住民の用に供している公園21か所、自然公園3か所を有しているが、公園は、住民の健康増進や子どもたちの健全育成、スポーツや文化活動、地域コミュニティ活動、観光振興や経済活性化、良好な都市景観の形成や環境の改善、防災性の向上、生物多様性の確保など様々な機能や効果を持つ施設である。そのためにも、これからの公園の有効な活用方法を見いだし、住民の生活をより豊かにしていくための方策を考えていくことが必要と考える。よって、以下の質問をする。

- (1) 都市公園の長寿命化計画を策定し進めているが、その内容はどのようなものか。
- (2) その中で安全管理に関してはどのように示されているのか。
- (3) 公園管理などは、厳しい財政状況の中でコストを削減しながら老朽化が進行する公園をどのように更新し、管理していくべきなのかなどが考えられるが、一番の課題は何か。
- (4) 住民のニーズをどう捉えているか。
- (5) 今後の目指すべき公園像とはどのようなものか。そのためにはどのように進めていく予定か。